



ガンキッズ・プラス



VOL.2 豊岡市教育委員会
こども育成課

2021年10月21日（木）発行

—豊岡市では運動遊び事業を積極的に推進・展開しています—

幼児期の運動遊び事業が、小学校へ つながる！！

豊岡市では、健やかな心と体を育むため「幼児期における運動遊び事業」を推進しています。なお、小学校体育と運動遊び事業を連携させ、継続的に「体の力」を育む取り組みを行っています。

一回目の運動遊び巡回訪問の様子

～豊岡市版小学校体育準備運動～



▲「ひこうき」の様子。腹筋の力とバランス感覚を発揮し、足を高く上げてキープしていました。
【豊岡小学校】

～島渡りジャンプ～



▲友達とペアになり、島から島へジャンプで進みます。友達同士でやりとりを楽しみながら挑戦していました！
【港小学校】

～魚つりチャレンジ～



▲魚に変身した友達を引っ張ります。声を掛け合い、力を合わせてゴールまで進んでいました。
【田鶴野小学校】

一回目の運動遊び巡回訪問では、感染症対策を講じながら、豊岡市版小学校体育準備運動や、友達と力を合わせるが必要な動きに挑戦しました。

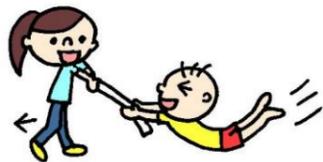
初めてのことも、友達同士で励まし合い、最後までやり遂げる姿が見られ、たくましく成長した子ども達の姿を感じました。

汗をたっぷりかいた子ども達からは「楽しかった！」「まだまだやりたい！」といった声がたくさん聞かれました！

家でも親子で運動遊び！

巡回訪問で行う運動遊びは、家でも手軽に楽しめます。ぜひ、親子で一緒に挑戦してみてください♪

タオルで魚つり



タオルの端と端を持ち、大人が漁師になり、魚役の子を引っ張ります。

魚つりは漁師役も魚役も、体の力をたっぷり使います。慣れてきたら子どもが漁師役になり、大人の魚をいっぱい釣らせてみましょう♪

馬跳び



大人は四つん這いになります。子どもは大人の背中に手をつき、跳箱のように跳び越えます。

跳箱に苦手意識があっても、親子で安心して動きの経験ができます。助走はつけず、手をついた状態から跳びましょう。

しりとり縄跳び



縄跳びをしながら頭も使って、親子でしりとりをしてみましょう。引っかかりず何回続か、親子でチャレンジ！

しりとり縄跳びなどの「～しながら〇〇する」という力は、学習面でも大いに役立ちます。いろいろな「ながら遊び」を親子で考え、楽しんでみてください♪

秋風が心地よく、過ごしやすい季節となりました。晴れた日は散歩に出掛け、親子で秋見つけを楽しんでみてください。

さて、二回目の巡回訪問が始まりました。今回も、感染症対策に十分配慮しながら、子ども達の挑戦意欲を引き出し、友達と力を合わせる喜びや達成感が味わえるような運動遊びを展開していきたいと思えます。

こども育成課 仲義健・上野真希

運動遊びに関する情報を発信しています。



声掛け次第で、子どもの行動が変わる！

こんな場面、ありませんか？



子どもに対し、「なんでできないの～！」と言いたくなるような場面はありませんか？
じつは小学校低学年頃は、たくさんの情報を順序立てて処理するための脳機能がまだ発達途中のため、一度にいくつもの指示を聞き取り、覚えておくことが苦手です。そのため、話を聞いていても、その通りに行動できないことがあります。

声掛けは「シンプル」と「褒める」を意識しよう！

- ・ひとつ、ひとつ声を掛けよう！（指示をシンプルにする）
- ・その都度、褒めよう！（「指示」と「褒める」をセットにする）

例：「〇〇したら▲▲して××しようね！」

↓↓↓
「〇〇してくれる？」「えらいね！」「ありがとう」
「次は▲▲しよう」「できたね！」「嬉しいよ」
「最後は××するよ！」「さすが！」「助かったよ」

シンプルな声を掛けると、子どもは何をしたら良いかが分かりやすくなります。声を掛けたらその都度、子どもがしようとしたことや、できた事を、うんと褒めましょう。



成長途中の子どもの発達に合わせた関わりが大切なのじゃな。褒める場面が増えると、子どもの自信や意欲が育まれたり、大人も笑顔で過ごせることが増えてたりして、良いこと尽くしじゃ♪

ちなみに… 脳を育てるには、体を動かした遊びが効果的！

体を動かした遊びは、脳の発達を促し、情報を上手く処理したり、その場に合った行動を考えたりする力が高まるのが分かっています。この力は、人とのコミュニケーションや学習面の基礎にもなっています。

脳の土台がつくられるこの時期に、家ではぜひ、親子で触れ合い、体を動かした遊びをたっぷり楽しんでみてください♪

